



海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校 ～

11月号

平成30年11月1日

さいたま市立海老沼小学校

盛りだくさんの、いろいろな秋

校長 森 裕子

一年で最も過ごしやすい秋が深まってまいりました。暑すぎず、寒すぎず・・・春もそうですが、春は年度の始まりなので秋に比べるとどこか落ち着かない感じがします。その点、秋は年度の間地点をちょうど過ぎる時期でもあり、これまでのことを振り返りながら、これからのことに見通しを立てることができる、“余裕”があります。それで、“〇〇の秋”などとよく言われるように、何かに勤（いそ）しむのに最適な季節と捉えられています。

さて、本校の秋は、と言いますと、まず10月に入って3日は、5年生となかよしさんが5月に見沼田んぼに植えた稲を刈りに行きました。ご指導してくださった近くの萩原さん親子（お母様と息子さん）が、そのあと天日に干して脱穀し、間もなく送ってくださる予定です。どんなにかおいしいことか、楽しみです。4日は、1年生の待ちに待った遠足で東武動物公園に行きました。ここで1年生は、小グループに分かれて自分たちだけで回ります。それぞれ時計係、地図係など役割を担い、はりきって出発しました。が、この時期はたくさんの学校や幼稚園が来ています。グループがばらばらになったりしないかな、みんなで仲よく回れるかな、と心配でした。そこで共栄大学の学生さんにボランティアをお願いしました。来春から教員になられるという8名の方々が、すぐに子ども達と打ち解けて、よくお世話をしてくださいました。子ども達も大喜びで無事楽しい遠足とすることができました。そして10月と言えば、なんと言っても6年生の修学旅行、日光です。6年生は小学校生活最後の大きなイベントとして本当に楽しみにしていました。1日目のスタートは残念ながら小雨でしたが、紅葉が見ごろとなったいろは坂や中禅寺湖は、いつ来ても癒される美しい風景です。また、今年は、湯滝、華厳の滝、竜頭の滝は例年の3倍という水量でとても迫力があり、一層すばらしかったです。6年生は素直に感嘆の声をあげ、胸に焼き付けた様子でした。そして世界遺産の東照宮は、いつも大変な混雑なので「ガイドさんのそばにくっついて説明聞くんだよ～」と声をかけたところ、誰もがマナーよく、スマートにしっかりとガイドさんの周りについてよく聞いていたので本当に感心しました。また、常に友達同士助け合って和気あいあいと楽しく過ごしていました。帰る頃には、何人もの子から「校長先生、なんで修学旅行は一泊なんですか。」と嘆かれました。6年生は、25日には、つぼみの日でそれぞれ、片柳中、大宮八幡中、第二東中へと体験入学にも行きました。三校の中学生は皆さんりっぱで、中学校について懇切丁寧に説明してくれました。6年生はそんな先輩達の姿に憧れと尊敬の気持ちを募らせ、益々中学校進学が楽しみになったようです。「卒業」がだんだん近づいてきたと実感し、寂しさを感じるのもこの時季です。

この他10月には、PTAから予算を組んで頂いている「芸術鑑賞教室」がありました。荒馬座による、「まつり、いのり、いのち」をテーマとした歌、民舞、演奏などを楽しみました。地域の方々もお招きして、堪能していただきました。ある児童はお礼の言葉で「日本の伝統的な楽器を使った演奏は、体中に響く迫力で鳥肌が立ちました。日本の古くからの音楽のよさがよくわかりました。」と述べてくれました。荒馬座の民舞を通して、脈々と受け継がれてきた歴史や文化を大いに感じ取る機会となったことをうれしく思います。さて、10月ひとつき間かけてやってきたことにマラソンがあります。課外活動として高学年が朝に夕に練習に励みました。そして、10月最後の日31日には、69回目となる大宮地区の駅伝大会があり、海老沼小を代表する選手16名で臨みました。結果は、男子4位、女子2位（1位とは1秒の差でした！）で男女とも上位入賞を果たし、「駅伝強豪校」の伝統が受け継がれました。さあ、次は校内マラソン大会（10日）です。本校では、例年土曜授業として実施しています。保護者、地域の皆様、自分の可能性を伸ばそうとする子ども達の尊い姿にどうぞ声援を送ってあげてください。最後に、来る11月は「海老沼読書月間」です。10月の児童朝会では図書委員の皆さんが「ひみつのカレーライス」という絵本を読み聞かせしてくれました。そして、その日は、「ひみつ」の入ったカレーが給食に出て、みんな「ひみつ（の種）」をみつけようといつも以上に楽しくおいしく給食をいただきました。“読書の秋”であり、“食欲の秋”ですね。



海老沼では、たくさんの方々からご支援を頂き、いろいろな秋が盛りだくさんです。そして、それぞれの秋が子ども達の成長に確実に結び付いることを心よりうれしく思います。